



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 フロンティア・マネジメント株式会社

上場取引所 東

コード番号 7038 URL <https://www.frontier-mgmt.com/>

代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員（ＣＯＯ） （氏名）西田 明德

問合せ先責任者 （役職名）執行役員コーポレート推進部長 （氏名）濱田 寛明 TEL 03-6862-5180

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	8,778	30.1	△68	—	△286	—	△547	—
2024年12月期第3四半期	6,748	△7.1	92	△89.2	18	△97.9	△109	—

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 △507百万円（－％） 2024年12月期第3四半期 △103百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△46.55	—
2024年12月期第3四半期	△9.33	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	18,258	10,467	12.0
2024年12月期	14,165	10,749	18.6

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 2,197百万円 2024年12月期 2,640百万円

純資産比率 2025年12月期第3四半期 57.3％ 2024年12月期 75.9％

自己資本比率は、（期末純資産合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分）を期末資産合計で除して算出しております。純資産比率は、期末純資産合計を期末資産合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年12月期の配当につきましては、未定であります。

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	13,080	41.2	△350	－	△600	－	△870	－	△73.97

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2. 連結業績予想の修正については、本日（2025年11月14日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 4社 （社名） F C I 1 株式会社、株式会社イーグルインベスコ、株式会社ホビーリンク・ジャパン、株式会社ビーバーコーポレーション
（注） 詳細は、四半期決算短信（添付資料） 9 ページ「連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	11,816,861株	2024年12月期	11,757,603株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	46,981株	2024年12月期	26,839株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	11,757,963株	2024年12月期 3 Q	11,735,336株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日 至2025年9月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持したものの、ロシア・ウクライナ情勢、中東情勢などの地政学的なリスクや米国の通商政策の影響による景気下振れリスク、物価上昇の継続による個人消費への影響等の懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、2025年2月13日付で策定した「構造改革プラン」に掲げる各施策に取り組むとともに、経営コンサルティング、M&Aアドバイザリー、再生支援、その他の機能を活かした包括的なサービス提供により、ワンストップで企業の課題解決を図る提案と執行に注力してまいりました。また、連結子会社フロンティア・キャピタル株式会社（以下、「FCI」という。）は、当第3四半期連結累計期間において4社に対して経営人材の派遣を伴う投資を実行し、累計では7社に出資を行っています。

経営コンサルティング事業、再生支援事業、及びその他事業（以下、「コンサルティング系事業」という。）は、人員適正化に伴うシニアメンバーの入れ替え等の影響により経営コンサルティング事業の売上高が一時的に縮小したことに加え、大型案件の減少により再生支援事業が減収となったこと等により、売上高は5,230,541千円（前年同期比7.2%減）となりました。

M&Aアドバイザリー事業では、当社が最も強みを有する国内・中規模M&A案件の獲得にむけた営業体制の強化を進めており受注案件数は改善傾向にありますが、案件獲得から収益計上までは一定の時間を要するため、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高973,344千円（前年同四半期連結累計期間比6.3%減）と前年同四半期連結累計期間比で減収となりました。

コンサルティング系事業、M&Aアドバイザリー事業ともに前年同四半期連結累計期間比で減収となった結果、コンサルティング・アドバイザリー事業セグメントの売上高は6,203,886千円（前年同四半期連結累計期間比7.0%減）、営業利益は194,099千円（前年同四半期連結累計期間比47.1%減）となりました。

投資事業においては当第3四半期連結累計期間に連結投資案件を含む4件の投資を実行し、連結投資先である株式会社ホビーリンク・ジャパン他2社の損益を第2四半期連結会計期間から連結決算に取り込んだ結果、売上高は2,579,088千円（前年同四半期連結累計期間比2,504,256千円増）と大幅に増加いたしました。しかしながら、投資実行時期が計画から遅延したこと等により、結果として人件費等の固定費の計上が先行し、263,081千円の営業損失（前年同四半期連結累計期間は274,593千円の営業損失）を計上することとなりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,778,975千円（前年同四半期連結累計期間比30.1%増）、営業損失は68,981千円（前年同四半期連結累計期間は92,054千円の営業利益）、支払利息97,882千円その他、連結子会社FCI1株式会社において、連結投資案件のクロージング時における一時的な支出であるシンジケートローンのアレンジメントフィー等の資金調達費用120,374千円を計上し、経常損失は286,779千円（前年同四半期連結累計期間は経常利益18,142千円）、破産更生債権に対する貸倒引当金繰入額31,623千円、事業構造改善費用78,452千円等の特別損失135,075千円、法人税等合計159,152千円等を控除し、親会社株主に帰属する四半期純損失は547,383千円（前年同四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失109,599千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

《コンサルティング・アドバイザリー事業セグメント》

コンサルティング・アドバイザリー事業セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、コンサルティング系事業の売上高が5,230,541千円（前年同四半期連結累計期間比7.2%減）、M&Aアドバイザリー事業の売上高が973,344千円（前年同四半期連結累計期間比6.3%減）とともに前年同四半期連結累計期間比で減少した結果、本セグメントの売上高は6,203,886千円（前年同四半期連結累計期間比7.0%減）、営業利益は194,099千円（前年同四半期連結累計期間比47.1%減）となりました。

(コンサルティング系事業)

コンサルティング系事業の各事業別の経営成績は次のとおりであります。

<経営コンサルティング事業>

経営コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,151,199千円（前年同四半期連結累計期間比6.6%減）となりました。当第3四半期連結累計期間においては、金融法人等からの案件獲得とともに大手事業法人からの案件獲得を図るべく営業チャネルの強化に取り組んでおりますが、人員適正化に伴うシニアメンバーの入れ替え等の影響により、前年同四半期比で減収となりました。

<再生支援事業>

再生支援事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,016,921千円（前年同四半期連結累計期間比6.6%減）となりました。当第3四半期連結累計期間においても、受注案件数は堅調に推移しておりますが、前年同四半期に比べて大型案件が減少したため、前年同四半期比で減収となりました。

<その他事業>

その他事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高62,420千円（前年同四半期連結累計期間比39.3%減）となりました。

(M&Aアドバイザリー事業)

M&Aアドバイザリー事業では、当社が最も強みを有する国内・中規模M&A案件の獲得にむけた営業体制の強化を進めており受注案件数は改善傾向にありますが、案件獲得から収益計上までは一定の時間を要するため、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高973,344千円（前年同四半期連結累計期間比6.3%減）と前年同四半期比で減収となりました。

《投資事業セグメント》

投資事業セグメントにおいては当第3四半期連結累計期間に連結投資案件を含む4件の投資を実行し、連結投資先である株式会社ホビーリンク・ジャパン他2社の損益を第2四半期から連結決算に取り込んだ結果、売上高は2,579,088千円（前年同四半期連結累計期間比2,504,256千円増）と大幅に増加いたしましたが、投資実行時期が計画から遅延したこと等により、結果として人件費等の固定費の計上が先行し、263,081千円の営業損失（前年同四半期連結累計期間は274,593千円の営業損失）を計上することとなりました。

(投資事業)

投資事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、当第3四半期連結累計期間において連結投資案件を含む4件の投資を実行し、投資実績の積み上げによりリターン報酬は着実に増加しており、売上高は155,088千円となりました。

(玩具小売事業)

玩具小売事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、フィギュア・模型等の海外向け小売等に注力した結果、売上高は2,424,000千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の部>

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産残高は18,258,498千円（前連結会計年度末は14,165,057千円）となり、前連結会計年度末と比して4,093,441千円増加いたしました。

これは主に、営業投資有価証券が1,525,915千円増加したほか、株式会社ホビーリンク・ジャパンの全株式を所有する株式会社イーグルインベスコを買収し連結の範囲に含めたことなどにより、のれんが3,587,163千円、商品が1,019,538千円、土地や建物（純額）などの有形固定資産が593,174千円増加した一方で、現金及び預金が2,833,669千円減少したことによるものであります。

<負債の部>

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の負債残高は7,790,998千円（前連結会計年度末は3,415,634千円）となり、前連結会計年度末と比して4,375,364千円増加いたしました。

これは主に、賞与引当金が817,665千円減少した一方で、短期借入金が800,000千円増加したほか、株式会社イーグルインベスコ以下3社を連結したこと等により、長期借入金（1年内返済予定のものを含む）が3,263,631千円、買掛金が299,759千円、流動負債のその他（前受金等）が549,216千円、固定負債のその他（長期預り保証金等）が155,277千円増加したことによるものであります。

<純資産の部>

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の純資産残高は10,467,499千円（前連結会計年度末は10,749,422千円）となり、前連結会計年度末と比して281,923千円減少いたしました。

これは主に、為替換算調整勘定が73,643千円増加したほか、F C I 1株式会社の連結等により非支配株主持分が166,375千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が547,383千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年11月14日）公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,561,180	4,727,510
受取手形、売掛金及び契約資産	1,390,825	997,793
営業投資有価証券	2,232,455	3,758,370
商品	—	1,019,538
その他	300,543	622,189
貸倒引当金	△14,663	△20,318
流動資産合計	11,470,340	11,105,084
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	203,537	367,305
機械及び装置（純額）	—	136,097
工具、器具及び備品（純額）	19,899	19,036
土地	—	181,068
建設仮勘定	—	112,200
その他（純額）	—	903
有形固定資産合計	223,437	816,611
無形固定資産		
ソフトウェア	30,314	47,065
ソフトウェア仮勘定	—	102,475
のれん	206,212	3,793,376
顧客関連資産	6,250	1,562
その他	1,277	1,170
無形固定資産合計	244,054	3,945,649
投資その他の資産		
投資有価証券	296	296
関係会社株式	1,307,658	1,365,266
関係会社出資金	2,648	3,252
敷金及び保証金	360,147	379,766
繰延税金資産	431,701	391,987
その他	120,865	285,418
貸倒引当金	—	△37,438
投資その他の資産合計	2,223,317	2,388,547
固定資産合計	2,690,809	7,150,809
繰延資産		
創立費	3,906	2,604
繰延資産合計	3,906	2,604
資産合計	14,165,057	18,258,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	127,016	426,776
短期借入金	—	800,000
1年内返済予定の長期借入金	248,492	548,492
未払金	331,328	355,232
未払法人税等	76,015	116,661
賞与引当金	948,696	131,031
役員賞与引当金	—	5,197
株主優待引当金	55,343	23,311
事業構造改善引当金	—	6,208
その他	336,008	885,225
流動負債合計	2,122,901	3,298,135
固定負債		
長期借入金	1,148,303	4,111,934
資産除去債務	131,386	131,449
繰延税金負債	13,043	94,202
その他	—	155,277
固定負債合計	1,292,733	4,492,862
負債合計	3,415,634	7,790,998
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,224	393,800
資本剰余金	745,500	769,117
利益剰余金	1,424,029	876,645
自己株式	△8,363	△8,363
株主資本合計	2,547,391	2,031,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,554	29,554
為替換算調整勘定	63,568	137,211
その他の包括利益累計額合計	93,122	166,766
新株予約権	60,691	54,940
非支配株主持分	8,048,217	8,214,592
純資産合計	10,749,422	10,467,499
負債純資産合計	14,165,057	18,258,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,748,886	8,778,975
売上原価	3,337,097	5,151,673
売上総利益	3,411,789	3,627,301
販売費及び一般管理費	3,319,735	3,696,282
営業利益又は営業損失(△)	92,054	△68,981
営業外収益		
受取利息	460	8,923
受取保険配当金	2,366	3,162
受取補償金	3,855	—
貸倒引当金戻入額	1,937	—
為替差益	—	4,902
売電収入	—	13,923
その他	1,390	7,739
営業外収益合計	10,011	38,651
営業外費用		
支払利息	13,315	97,882
株式交付費	17,500	8,732
減価償却費	—	8,853
持分法による投資損失	46,660	10,223
資金調達費用	—	120,374
貸倒引当金繰入額	—	5,815
為替差損	6,029	—
その他	417	4,569
営業外費用合計	83,922	256,449
経常利益又は経常損失(△)	18,142	△286,779
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	31,623
事業構造改善費用	—	78,452
株主総会対応費用	—	25,000
特別損失合計	—	135,075
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,142	△421,855
法人税、住民税及び事業税	6,465	101,467
法人税等調整額	132,914	57,684
法人税等合計	139,379	159,152
四半期純損失(△)	△121,237	△581,008
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,637	△33,624
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△109,599	△547,383

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△121,237	△581,008
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△581	△1,117
持分法適用会社に対する持分相当額	18,507	74,761
その他の包括利益合計	17,925	73,643
四半期包括利益	△103,311	△507,364
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,674	△473,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,637	△33,624

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲及び持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当社の連結子会社であるフロンティア・キャピタル株式会社は、F C I 1 株式会社を設立し、同社を通じて2025年2月28日に株式会社ホビーリンク・ジャパンの全株式を所有する株式会社イーグルインベスコの全株式及び新株予約権を取得いたしました。このため、第1四半期連結会計期間より、F C I 1 株式会社、株式会社イーグルインベスコ、株式会社ホビーリンク・ジャパン及び同社の子会社である株式会社ビーバーコーポレーションを連結の範囲に含めております。なお、当該連結の範囲の変更は、当第3四半期連結累計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えることが見込まれます。当該影響の概要は、連結貸借対照表の資産合計及び負債合計の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	48,628千円	71,240千円
のれんの償却額	22,094	212,055
顧客関連資産償却額	4,687	4,687

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	コンサルティング・アドバイザリー事業	投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,674,054	74,832	6,748,886	—	6,748,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,674,054	74,832	6,748,886	—	6,748,886
セグメント利益又は損失(△)	366,648	△274,593	92,054	—	92,054

(注) 「セグメント利益又は損失」は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第3四半期連結会計期間において、連結子会社であるフロンティア・キャピタル株式会社は第三者割当増資により金融機関等から総額5,000,000千円の資金調達を行いました。このため、投資事業の当第3四半期連結会計期間のセグメント資産の金額は、前連結会計年度末と比較して4,580,780千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	コンサルティング・アドバイザリー事業	投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,199,886	2,579,088	8,778,975	—	8,778,975
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,000	—	4,000	△4,000	—
計	6,203,886	2,579,088	8,782,975	△4,000	8,778,975
セグメント利益又は損失(△)	194,099	△263,081	△68,981	—	△68,981

(注) 「セグメント利益又は損失」は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であるフロンティア・キャピタル株式会社、同社の連結子会社であるFCI1株式会社を通じて、株式会社ホビーリンク・ジャパンの全株式を所有する株式会社イーグルインベスコの全株式及び新株予約権を取得し、これを連結の範囲に含めたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、投資事業のセグメント資産が4,397,149千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結累計期間において、玩具小売事業を営む株式会社ホビーリンク・ジャパン及び同社の子会社である株式会社ビーバーコーポレーションが投資事業セグメントに加わったことにより、投資事業セグメントの売上高は、投資先に対するコンサルティング報酬等と玩具小売事業の商品売上により構成されております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

投資事業セグメントにおいて、連結子会社であるフロンティア・キャピタル株式会社が、同社の連結子会社であるF C I 1 株式会社を通じて、株式会社ホビーリンク・ジャパンの全株式を所有する株式会社イーグルインベスコを子会社化したことにより、のれんを計上しております。当第3四半期連結累計期間において当該事象によるのれんの増加額は、3,799,219千円であります。